

学校関係者評価委員会報告書

令和元年12月20日

旭川歯科学院専門学校

<ご報告>

本校が行った令和元年度学校自己評価に基づき、学校関係者評価委員会で行っていただきました評価結果につきましてご報告いたします。

みなさまからいただきました評価につきましては、本校の教育活動および学校運営全般の改善につなげてまいります。

<学校関係者評価委員会開催>

日 時 令和元年11月18日（月曜日） 19:00～20:30

場 所 旭川歯科学院専門学校 3階・図書室

出 席 竹川政範委員（旭川医科大学歯科口腔外科学講座教授）

池田卓平委員（旭川市立共栄小学校校長）

山本 浩委員（北海道旭川東高等学校事務長）

近藤泰規委員（北海道歯科技工士会旭川支部会専務理事）

欠 席 安田佳正委員（旭川市議会議長）

事務局 校長 岩田谷 隆

副校長 斉藤幸雄

教務部長 辻 任

事務部長 大久保卓哉

運営委員長 江端正祐

学校自己評価項目	自己評価	関係者評価
1. 建学の趣旨と教育の方針		
建学の趣旨と教育の方針は定められているか。	3.8	「歯科衛生士」の認知度が高いとは言えないため、業務の周知を含めて社会に対する情報提供を行っていく必要がある。
将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いているか。	3.0	
建学の趣旨や教育の方針、将来構想は、生徒、保護者等に周知されているか。	3.0	
2. 学校経営方針		
教育理念、目標に沿った学校経営方針が策定されているか。	3.3	情報公開に関する自己評価が総じて低いことは好ましくない。情報公開は充実させていく必要がある。
学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。	3.1	
人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3.3	
地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。	3.3	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.3	
3. 教育活動		
教育理念、目標に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか。	3.5	生徒が自身の達成度を振り返ることができるようにするためにも、卒業まで一貫してポートフォリオを作成し、評価を行うシステムを導入すべき。体系的なファカルティ・ディベロップメントの仕組みを導入してほしい。
カリキュラムは体系的に編成され、学修時間の確保は明確化されているか。	3.5	
成績評価、単位認定、進級、卒業の基準は明確化されているか。	3.4	
教育の方針達成に向けた授業担当教員を確保しているか。	2.8	
教員の先端知識、技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか。	2.7	
4. 学習成果		
就職率の向上が図られているか。	3.6	国家試験合格率の向上を図ってほしい。生徒に対する面談等を増やし、特に1年生の退学者を減らす方策を進めてほしい。
国家試験合格率の向上が図られているか。	1.9	
退学率の低減が図られているか。	2.8	
卒業後の生徒のフォローアップがなされているか。	2.6	
5. 生徒支援		
進路、就職に関する支援体制は整備されているか。	3.7	私立専門学校生への経済的支援等事業を活用していたが、来年から始まる高等教育の修学支援新制度をうまく活用し、生徒の支援を行ってほしい。介護現場では歯科衛生士のニーズが非常に高くなっている。保護者や卒業生とも連携し、さらに歯科衛生士職の周知を図ってほしい。
相談に関する体制は整備されているか。	3.4	
生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.4	
生徒の健康管理を担う体制はあるか。	3.3	
生徒の生活環境支援は行われているか。	3.2	
保護者と適切に連携しているか。	3.2	
卒業生への支援体制はあるか。	2.8	
6. 教育環境		
施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	3.6	医療では機器の進歩が速い。業者等の協力も得て、先端機器への対応を行ってほしい。
学内外の実施施設等について、十分な教育体制を整備しているか。	3.2	
防災に対する体制は整備されているか。	3.5	

学校自己評価項目	自己評価	関係者評価
7. 生徒の受け入れ募集		
生徒募集活動は適正に行われているか。	3.8	かつて歯科技工士を養成する学科が閉科になった原因の一つに、親が勧めないことがあった。高校生が減っていく中で、歯科衛生士の認知度を高めることが必要。 卒業生による高校訪問を行いPRしていくことも重要。
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.8	
学費等納入金は妥当なものとなっているか。	3.6	
8. 財務		
中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	2.5	定員充足率が7割程度になっているが、高校生がさらに減少していくことを考えると定員見直しも必要。 財政状況を考えると、授業料等の納付金見直しや、経営母体からの支援も必要ではないか。 情報公開は積極的に進めてほしい。
予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.1	
財務について会計監査が適正に行われているか。	3.6	
財務情報公開の体制整備はできているか。	3.4	
9. 地域社会貢献		
臨地実習等を通して生徒、教員による地域社会貢献を行っているか。	3.7	地域社会貢献は、歯科衛生士の周知にもつながるため、継続してほしい。
10. 法令等の遵守		
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	3.8	引き続き法令遵守に心がけてほしい。
個人情報に関して、その保護のための対策が取られているか。	3.3	
学校自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	3.1	
学校自己評価結果を公開しているか。	3.5	

※自己評価・・・4「適切」、3「ほぼ適切」、2「やや適切」、1「不適切」とし、平均点で算出。

<ごあいさつ>

少子高齢化が進み、本校では生徒の定員確保が難しくなってきました。そのような中、学外の方々のご意見をいただき、学校運営に活かしていくことを目的に本委員会を開催することにいたしました。今後も年2回の開催を予定しており、ホームページにおきまして評価結果を公開させていただきます。みなさまのご意見をもとに、良き学校づくりに取り組んでまいります。

高齢者社会の中で歯科衛生士のニーズは年々高まっております。今後も優秀な歯科衛生士を世に輩出していくことに努力いたします。

令和元年12月20日

一般社団法人旭川歯科医師会立

旭川歯科学院専門学校長 岩田谷 隆